

公開シンポジウム

コロナ禍における 社会福祉の課題と 近未来への展望

～直面する危機から考える～

日時 2021年6月27日（日）

13時00分～16時30分

参加費 無料

開催 ウェビナーによるオンライン開催

開催趣旨：コロナ禍において、社会福祉の実践現場では様々な課題に直面している。感染拡大にともなう生活困窮（問題）の拡大や福祉サービスの利用制限、地域活動の自粛、感染拡大の予防とサービス提供の両立を求められる福祉施設の運営、地域での感染者等への差別や排除、外国人や若者など既存の制度で対応できない人々への支援課題など、この間、様々な事象が表面化し、現場において試行錯誤の取り組みがなされてきた。

こうした取り組みは、新型コロナウイルスの感染拡大で生じた課題への対応としてだけでなく、これまで社会保障や社会福祉が抱えていた潜在的な課題、あるいは今後検討していかなければならないテーマの重要性を示唆するものである。社会福祉分科会では、2018年に提言『社会的つながりが弱い人への支援の在り方について』をまとめているが、その際に問題にした状況は益々深刻化している。

今回のシンポジウムでは コロナ禍で顕在化した社会福祉課題を確認し、コロナ禍のみならず、コロナが収束した後（アフターコロナ、ビヨンドコロナ）において、必要な対応について検討する。そのために、第Ⅰ部では、福祉現場からコロナ禍で顕在化した課題について報告していただき、そのうえで、第Ⅱ部では制度、政策、実践の基盤となる社会福祉学の観点から、社会福祉の近未来について展望する。

主催：日本学術会議社会学委員会社会福祉学分科会

共催：日本社会福祉系学会連合

後援：社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本医療ソーシャルワーク協会、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

予定	内容	
13:00	挨拶	湯澤直美（日本学術会議連携会員 日本社会福祉系学会連合会長）
13:05	基調報告	「コロナ禍で顕在化した危機・リスクと社会福祉の役割」 和気純子（日本学術会議第一部会員 東京都立大学教授）
第Ⅰ部		
13:20		「福祉現場からの報告 -コロナ禍で顕在化した課題-」 コーディネーター 原田正樹（日本学術会議連携会員 日本福祉大学教授）
13:25	報告1	「コロナ禍でつながる地域と診療所のソーシャルワーク」 榊原次郎（たちかわ脳神経外科クリニック 医療ソーシャルワーカー）
13:40	報告2	「コロナ禍で見えた移民、難民の健康・生活破壊」 大川昭博（NPO法人 移住者と連帯する全国ネットワーク理事）
13:55	報告3	「コロナ禍で生活困窮、社会的孤立を支える現場から」 勝部麗子（社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長）
14:10	報告4	「ポストコロナの社会福祉施設でのテクノロジーの導入」 宮本隆史（社会福祉法人 善光会C00）
14:25	討論	
14:45	休憩	
第Ⅱ部		
15:00		「コロナ禍において問いかけられていること-社会福祉学からの問題提起-」 コーディネーター 金子光一（日本学術会議連携会員 東洋大学教授）
15:05	報告1	「生存権保障のために～生活保護行政に問いかけられているものもの」 岩永理恵（日本学術会議連携会員 日本女子大学准教授）
15:25	報告2	「医療機関で働くソーシャルワーカーの実態調査から見えてきたこと」 保正友子（日本学術会議連携会員 日本福祉大学教授）
15:45	報告3	「ジェンダー平等を実現するために～シングルマザーの現実から～」 湯澤直美（日本学術会議連携会員 立教大学教授）
16:05	討論	
16:30	閉会	木原活信（日本学術会議連携会員 同志社大学教授）



事前申込み

<http://bit.ly/june27seminar>

（1,000名定員達成次第 締め切り）

- ・お申込み後、ZOOMのURLを送信いたします
- ・後日の配信については検討中です

申込締切

2021年6月25日（金）24時

お問合せ

社会福祉系学会連合事務局

jaswas.official@gmail.com